



## 社会的責任投資とは

- 社会的責任投資（SRI: Social Responsible Investment）の仮説的定義：社会に正の外部性を与えるものに投資をしたり、逆に社会に負の外部性を与えるものへの投資を避けるなど、社会を「お金による投票」で決めることである
- SRIには、スクリーニング、株主行動、コミュニティ投資の3つが典型的なアプローチである。

1



## スクリーニングとは

- 投資先を選定する際に、財務的要素だけを判断するのではなく、その企業や団体の社会的評価を含めて、投資家の価値観に応じた投資を行うことである。
- 例えば、アルコール、タバコ、ギャンブル、武器、原子力、動物実験など、投資家の主義主張に基づいて特定事業を排除するネガティブ・スクリーニングと環境配慮や労働問題への取り組み、地域社会への貢献というような「企業の社会的責任」を積極的に評価するポジティブスクリーニングがある

2



## 株主行動・コミュニティ投資とは

---

- 株主行動とは、株主提案や議決権の行使などの権利を通じて、投資先の企業に社会的責任を果たすように求めることである
- コミュニティ投資とは、地域開発を目的とする金融機関を通じて、地域再生や活性化のために投資を行うことである

3



## 社会的責任投資の広がり

---

- 米国
  - 政府主導ではなく、民間の年金基金などの投資運用機関のレベルにおいて歴史的蓄積が見られる。
- 欧州
  - 各国政府における年金法改正や会社法改正など、政府主導で行われている。

4

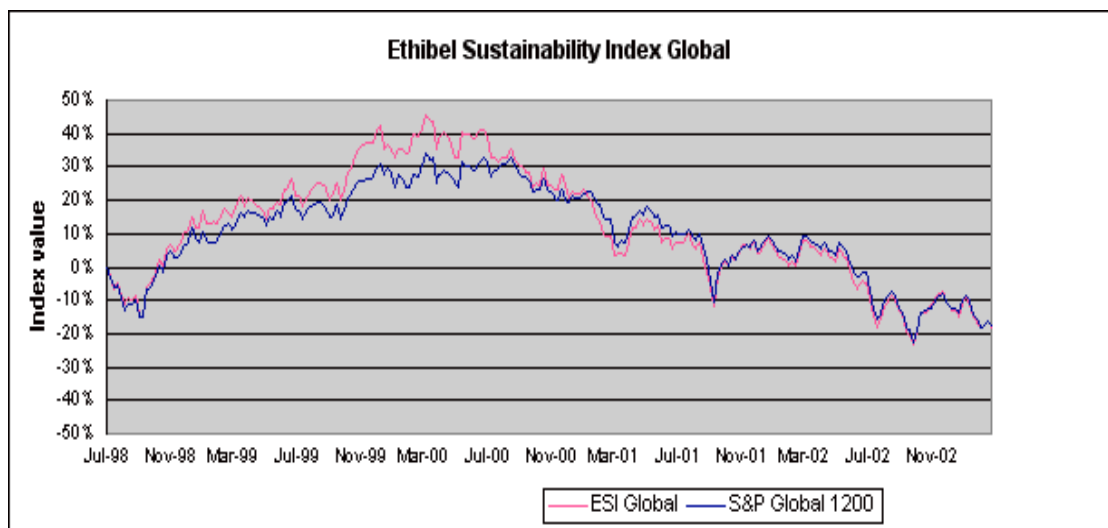
## 「企業の社会的責任」の潮流

- 世界的に「企業の社会的責任」を問う潮流が進み、それが「投資」という形で顕在化している
- 多くのガイドラインやマネジメント規格が発表されてきている
  - 「持続可能性報告ガイドライン」 (Global Reporting Initiative (GRI))
  - 「多国籍企業ガイドライン」 (OECD)
  - Green Paper 366 「CSR政策に関する欧州フレームワーク」 (欧州委員会)
  - ISOの第3世代規格としてのCSR規格の検討

5

## SRIのパフォーマンス

パフォーマンスは、ベンチマークを上回っている



# SRIと年金の関係

欧州の年金制度改正においてSRIを推進する要素が含まれる

英国:改正年金法(2000年7月施行)

年金運用受託者(機関投資家)に、投資銘柄選定における環境面、社会面、倫理面の考慮と議決権行使の基本方針について表明することを義務付け

独国:年金制度改正(2001年7月施行)

年金運用受託者は、基金の投資運用に当たって倫理面、社会面、環境面への配慮の程度について報告書を公表することを義務付け

- ・ 持続可能な社会を達成するための企業の役割への期待・促進
- ・ 企業のコーポレートガバナンスに対する機関投資家への期待

7

# 米国の年金基金の動向

- CalPERS、TIAA-CREFなど、資産規模の大きい年金基金がSRI的運用を行っている
  - 意義：株式投資を通じて、企業のコーポレートガバナンス活動に影響を与えることによって、「企業の社会的責任」を促進するとともに、株式市場などの経済の活性化を促進する効果が期待される。



## 英国における年金法改正

---

- 2000年の年金法改正によって、年金基金の運用時の投資銘柄選定において、非財務的要素である社会的側面、環境的側面、倫理的側面をどの程度考慮しているのか、投資に付随する権利の実行に関する方針の2点について、投資原則方針書（statement of Investment Principles）に記載し、情報開示することを受託者に求めることとなった。